



『数学』の面白さ、楽しさに感動 ～理学博士・数学者 秋山 仁 先生 講演会開催～

東北電力東通原子力発電所(所長 渡部孝男)では、「放課後ひろば」という総称のもと、地域の未来を担う子供たちが、個性や才能をのびのびと伸ばすことのできる環境づくりのために、次世代支援活動を行っています。今回は東通中学校の生徒のみなさんに、夢や目標にチャレンジすることの大切さを学び、自己実現をはかるための糧としていただければとの思いから、10月20日(月)東通中学校体育館において、テレビでもおなじみの理学博士・数学者である秋山 仁先生をお招きし、『数学はこんなに面白い 秋山 仁 講演会』を開催いたしました。

秋山先生は、「公式を暗記するだけではなく、なぜ、そうなるのかを考えることが大事なんだね」、「まずは好きになること。そして一生懸命続けること。夢はきっとかなうよ」などの心あたたまるメッセージを生徒たちに送りました。

講演会終了後、生徒を代表し3年生の高塚千夏さんが「より真剣に数学を学んでみようと思いました。秋山先生の話をお忘れず、東通中学校の新たな伝統作りに励んでいきたいです」とお礼の言葉を述べ、同じく3年生の相内ゆめさんが花束を贈呈しました。

秋山先生からは「これまでいろんな学校で講演してきましたが、これほど熱心に聴いてくれた生徒さんは初めてです」という感想がありました。



「発想力を鍛えて不可能を可能にしていこう」



真剣に聴き入る生徒たち



熱意がひしひしと伝わります

東通原子力発電所は、今後もさまざまなスポーツや文化活動を支援し、未来を担う子供たちの育成のために、子供たちが未来に夢をもって真剣に取り組む姿勢を育ていければと考えています。



秋山先生と一緒に数学の楽しさを実感



秋山先生 ありがとうございます

訓練を重ね迅速かつ的確な対応に努めます

青森県原子力防災訓練に合わせ消防訓練を実施

10月29日(水)、青森県等が主催する「平成20年度青森県原子力防災訓練」に東通原子力発電所は原子力事業者として参加しました。訓練は緊急時の通報訓練をはじめ、東通村による住民の避難誘導訓練などを行い、参加者一同は緊張感を持って訓練に取り組みました。本訓練に合わせ発電所構内では、油火災を想定した自衛消防隊による消防訓練を実施しました。



訓練では消火器による初期消火を行った後、自衛消防隊の化学消防自動車等で消火活動を行いました。

今回の訓練において、火災時の具体的な消火手順を一つひとつ再確認しました。これからも、自主的な訓練を継続して実施し、万が一の災害時に備えてまいります。

読書を通じた子供たちの健やかな成長を願って

原子力の日(10月26日)を記念して、東通原子力発電所では10月27日(月)、東通村教育委員会に、環境・教育に関する図書を寄贈しました。20回目となる今回から、今年度開校した東通中学校にも図書を贈呈することになりました。東通村教育委員会の川畑修二教育長からは「図書をさらに充実することができて、子供たちも大変喜んでくれると思う」とのお言葉をいただきました。



川畑教育長(写真:右)に目録を手渡す
渡部東通原子力発電所所長